

# 平成24年度 高松市事業仕分け 傍聴者からのご意見



## 傍聴者判定集計結果表

事業名	総数	傍聴人の判定					傍聴人判定結果	市民判定人判定結果	仕分け人判定結果(参考)
		A 不要	B 必要性の再検討	C 国・県・広域実施	市実施				
					D 要改善	E 現行どおり			
①防災資器材整備事業	15	0	2	2	8	3	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)
②コミュニティバス等運行補助事業	19	1	8	1	8	1	必要性の再検討 市実施(要改善)	必要性の再検討	必要性の再検討
③身体障害者福祉タクシー助成事業	17	0	5	1	9	2	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)
④太陽光発電システム設置補助事業(事業所用)	15	9	3	1	1	1	不要	不要	不要
⑤地籍調査事業	13	1	4	3	5	0	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)
⑥駐車場管理事業	13	2	6	0	5	0	必要性の再検討	市実施(要改善)	必要性の再検討
⑦消防車両整備事業	12	0	1	1	3	7	市実施(現行どおり)	市実施(現行どおり)	市実施(要改善)
⑧高松市民病院施設管理委託事業	11	0	0	0	11	0	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)
⑨再生水利用下水道事業	14	2	1	0	11	0	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)
⑩成人式式典事業	14	1	3	0	8	2	市実施(要改善)	市実施(要改善)	市実施(要改善)

## 傍聴者アンケート集計結果表

[有効回答数:50人]  
(総傍聴者数:244人回答率:20.5%)

1 あなたの住まいをお教えください。

	高松市内	高松市外	未記入
人数	43人	7人	0人
割合(%)	86%	14%	0%

2 本市「事業仕分け」を、何でお知りになりましたか。(複数選択可)

	広報たかまつ	高松市ホームページ	高松市作成チラシ	構想日本の案内	その他	未記入
人数	14人	28人	6人	3人	6人	0人
割合(%)	28%	56%	12%	6%	12%	0%

3 本市職員の説明や回答は、わかりやすかったですか。

	わかりやすかった	ふつう	わかりにくかった	未記入
人数	18人	25人	6人	1人
割合(%)	36%	50%	12%	2%

4 コーディネーターの進行について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	37人	7人	5人	1人
割合(%)	74%	14%	10%	2%

5 仕分け人の質問について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	27人	11人	12人	0人
割合(%)	54%	22%	24%	0%

6 市民判定人の判定について、どう思われましたか。

	適切だった	どちらともいえない	不適切なところがあった	未記入
人数	27人	14人	5人	4人
割合(%)	54%	28%	10%	8%

7 事業仕分け手法を活用して、事務事業を見直すことをどう思いますか。

	意義がある	意義を感じない	わからない	未記入
人数	35人	9人	5人	1人
割合(%)	70%	18%	10%	2%

## 傍聴者の主な意見・感想

- ・ 仕分け人だけで行われていた従来の判定よりも、市民としての立場で検討・判定する今回の方が仕分け結果が納得できた。
- ・ 市民判定人は市の委員会の委員ではなく無作為抽出した市民の方が良いのではないか。
- ・ 事業を選定した理由、事業の必要性や事業手法について、もっと担当者が思いを込めて説明していただきたかった。
- ・ 結論だけ知らされてもわかりにくいので、広く市民の耳に入るようケーブルテレビ等で放送してみてもどうか。
- ・ 構想日本の方と市の担当者の方が一緒に事業を見直すという目的で、担当者自身が疑問に感じているところを仕分け人にぶつけてもよいのかなと思った。利用者のエピソードなどを紹介すると説得力も増すのではないか。
- ・ 福祉や市民サービスを30分程度の議論で廃止・縮小することに怒りを感じる。事業仕分けそのものを止めるべきであると思う。
- ・ 防災資器材事業で、仕分け人と担当者の説明にかなりずれがあったと思う。仕分け人は災害後数日たったの議論をしていた。住民が避難所にトイレを持っていくのは無理だと思う。
- ・ 仕分け人が質問に際し個人的な見解を主張し、市民判定人の判定がそれに引っ張られているように感じた。
- ・ 対象となった事業の多くが義務的なものであったため、仕分けする必要性があまり感じられなかった。
- ・ 年々、市側の説明力がアップしているように感じる。
- ・ 仕分け人の質問について、現実的な問題として捉えているのか、市民のためを考えているのか疑問に感じるところがあった。何もかも否定的な見方から入るのではなく、建設的な意見をいただきたい。
- ・ 仕分け人や市民判定人は市民の代表ではないので、市議会できちんと議論してほしい。この事業仕分けは無駄である。
- ・ 今回の結果が市政に反映されることを望みます。
- ・ 福祉や防災、公共交通だけでなく、ダムや競技場等不要不急な公共事業等を議論すべきではないか。福祉は応益負担ではなく応能負担で対応すべきである。
- ・ 市が外部の意見を聴く良い機会だと思う。
- ・ 事業ごとに的確な問題点の追求がなされており、市民観点からしても概ね妥当な結論になったと思う。全国的にも事業仕分けを行う自治体が減っている中、毎年一生懸命事業仕分けを行っているのは大変良いと思うので、これからも続けてほしい。
- ・ 要改善となった事業がどのように改善されたのかがはっきりわかるようにしてほしい。
- ・ 言葉だけでなく、図解があるとわかりやすいと思う。
- ・ 仕分け人は自分の知識や他市の状況を前面に出して「どうして市費で」と言うが、仕分け人が認識している他市の状況よりも本市の方が建設的・必然的な事業であると思う。